

しまね映画塾2019 in 隠岐 [塾生応募用紙]

フリガナ	性別	男・女	顔写真 両部門とも正面アップ写真を 枠内に貼ってください。 (W50mm×H65mm内) ※写真がない応募用紙は受付できません。
氏名	学生・一般		
生年月日	年 月 日(歳)		
差し支えなければ、ご記入ください			
(学生の方) 学校名			
(一般の方) ご職業			
普通自動車免許	あり・なし		
保護者氏名(応募者が未成年者の場合)	キャスト部門の方のみ記入		
自宅住所 (〒)	(続柄)	身長 / 体重	

連絡先

TEL ()

FAX ()

携帯電話

E-mail

応募する理由・目的や自己PRなど

[スタッフ部門] 撮影経験、映画に対する思いなど

[キャスト部門] 活動歴(芝居歴、レッスン歴)や趣味・特技等

撮影合宿用Tシャツ希望サイズ XS・S・M・L・XL・XXL

※撮影合宿時に配布(2枚)する為、必ずいずれかを選んでください。
※表記サイズは男女共用サイズです。

※ご応募にあたっての個人情報、しまね映画塾および映画祭の事業実施に必要な場合に限り使用させていただきます。

●完成した作品は、[第28回しまね映画祭]のイベントとして上映会と写真展を開催するほか、テレビ放映を予定しております。またウェブ上での公開や国内・海外のショートフィルム映画祭へ出品する場合があります。全てのスケジュールが終了後、作品やメイキング映像をDVD化して、参加者ほかに実費で配布いたします。

応募する部門に
○をつけてください

スタッフ部門
キャスト部門

しまね映画塾2019 in 隠岐
スケジュール

- 6/9(日) 隠岐ガイダンス(隠岐島文化会館)
- 6/15(土) 松江ガイダンス(島根県民会館)
- 6/9(日) ~ 7/7(日) 塾生(スタッフ・キャスト)とシナリオ(脚本)を応募受付
- 8月上旬 映画化シナリオ選考&決定(応募作品を参加者・関係者で選考)
- 8/24(土) スタッフ顔合わせ・キャストオーディション
- 10月 編集作業
- 9/21(土) ~ 9/23(月・祝) 隠岐の島町内で撮影合宿
- 11/23(土) 完成作品発表上映会



What's SHIMANE FILM SESSION?
しまね映画塾とは—

映画館の少ない島根県で、公共ホール等を会場に県内各地に映画を届ける「しまね映画祭」が、映画の製作体験を通してもっと映画を知ってもらうことを目的に2003年から開催しているワークショップです。映画監督・錦織良成塾長のもと、脚本作りや実際に撮影合宿で短編映画を撮影し、編集、上映までを行う充実した内容で、これまでに県内16か所(頓原町・平田市・木次町・安来市・大社町・美保関町・大田市波根町・津和野町・安来市・大田市三瓶町・益田市・松江市穴道町・邑南町・雲南市・大田市大森町・仁摩町・温泉津町・浜田市※開催順)で開催し、150本を超える作品が生まれました。撮影合宿では、社会人・学生・主婦・お年寄り・子供たちなど、キャリアも年齢もバラバラの見知らぬ人同士がチームを組み、10本前後のオリジナル作品を撮影していきます。参加する塾生や地元ボランティアは100名を超え、コメディや時代劇、SF、その土地の民話をモチーフにしたファンタジーや、地元実在の人物を題材にした感動ドラマなど、バラエティー豊かな作品が次々と生まれています。島根の美しい風景や、地元の協力で実現する民家、名所、旧跡など素晴らしいロケーションでの撮影も作品に深みを与え、映画の面白さと地域の魅力を発信し続けています。



しまね映画塾 塾長
映画監督・脚本家
錦織良成
Yoshinari Nishikori

何かをつかみたいという者よ、万難を排して集まれ!
非日常を体験せよ!

令和元年、初めてのしまね映画塾は隠岐の島で開催される。一日だけの映画塾ワークショップを隠岐で開催した際の隠岐の島町の皆さんも楽しんでやろう!というエネルギーに満ち溢れた姿が忘れられない。しまね映画塾は中途半端な思いの塾生は要らない。隠岐の島のポジティブなエネルギーに弾き飛ばされることなく全力で参加してきて欲しい。何かをつかみたいという者よ、万難を排して集まれ!合宿しながら作品作りで没頭する、という「非日常」があなたを夢中にさせるに違いない。

1962年島根県出雲市出身。1996年劇場映画「BUGS」(高橋かおり主演)で映画監督デビュー。1999年「守ってあげたい」を脚本・監督。一躍注目を集める。2002年故郷を舞台にした劇場映画「白い船」を脚本・監督。全国公開されその年のミニシアター邦画作品部門の全国興行成績第1位を記録。その後2003年デジタルシネマ「ハート・オブ・ザ・シー」、2005年に中米ハイチを舞台にした「ミラクルバナナ」、2008年に島根県雲南市を舞台にした「うん。何?」(ホルル国際映画祭優秀映画祭賞受賞/フランス最大の日本映画祭KINOTAYO映画祭正式招待作品)と丁寧な作品作りを進めている。2010年「RAILWAYS(レールウェイ)〜49歳で電車の運転士になった男の物語〜」(主演:中井貴一)が全国一斉ロードショー(配給:松竹/KINOTAYO映画祭2010最高賞 Soleil d'or KINOTAYO受賞)。2011年「わさお」(主演/斎藤九ひろ子・わさお(秋田大))。2013年全国公開された隠岐の古典相撲を題材に家族の絆を描いた「渾身-KON-SHIN-」は「第36回モントリオール世界映画祭」第25回東京国際映画祭」に正式招待作品として上映、高評価を得た。2016年EXILE HIRO氏がエグゼクティブプロデューサーをつとめた時代劇「たたら侍」脚本・監督。同作で北米最大の映画祭「第40回モントリオール世界映画祭2016」においてワールドコンペティション部門最優秀芸術賞を受賞。2017年全国一斉公開された。2018年、JR西日本の観光列車「天地(あめつち)」の総合プロデューサー。日本の心を映画に、との強い思いで、時代に流されない独自の企画で撮り続ける数少ない映画監督の一人。何気ない日常をとらえる描写力と柔らかな映像センスに定評がある。現在、石見が舞台の映画「高津川」制作中。最新作「僕に、会いたかった」(主演:TAKAHIRO、松坂慶子)は、2019年5月10日全国公開。

ガイダンス会場/隠岐島文化会館(隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二)
ガイダンス会場までの交通アクセス

- 隠岐汽船乗り場より約1.5km...徒歩/約15~20分 車/約3分
- 隠岐空港より...徒歩/約40~50分 車/約10分

- 主催:しまね映画祭実行委員会 ●共催:島根県文化団体連合会
- 助成:しまね文化ファンド・芸術文化振興基金・公益財団法人ごうざん島根文化振興財団
- 協力:公益財団法人 隠岐の島町教育文化振興財団 他・山陰中央新報社・島根県興行生活衛生同業組合・TSK山陰中央テレビ・TSKエンタープライズ・エフエム山陰
- 協賛:朝日新聞松江支局・毎日新聞松江支局・読売新聞松江支局・産経新聞松江支局・日本経済新聞社松江支局・中国新聞社・新日本海新聞社・島根日日新聞社・共同通信社松江支局・時事通信社松江支局・NHK松江放送局・BSS山陰放送・日本海テレビ・島根県ケーブルテレビ協議会・島根県公立文化施設協議会・しまねミュージアム協議会



大参加者
大募集者

作家、監督、カメラマン
アシスタント、演者など
映画づくりに携わる

SHIMANE FILM SESSION 2019

しまね映画塾
in 隠岐の島町

「しまね映画塾」は、映画監督の錦織良成塾長のもと、参加する塾生自身がオリジナルシナリオを作り、スタッフ・キャストとなって短編映画を製作・発表するワークショップです。カメラを触ったことがなくても大丈夫!映画を通して出会う新しい仲間と、隠岐の魅力を映像で伝えよう!



映画を撮ろう!